

ロータスコート Lotus Coat

特長

○日本初の超撥水テクノロジーと、ハイレベルの帯電防止コートにより
汚れ・水滴はもちろんのこと、ホコリが吸着しにくい機能を実現

※特許出願済

- ・汚れが付きにくい
- ・汚れが拭き取りやすいから、キズが付きにくい
- ・水滴がさっと落ちる
- ・埃が付きにくい

○お手入れ回数が1／5に！ ※伊藤光学社内モニター結果より

○屋外での急な雨でも視界がクリア
(視界を妨げない水滴の粒子の細かさを実現)

防汚、拭き取り性

・指に皮脂を付け、レンズに付着させました。



ロータスコート



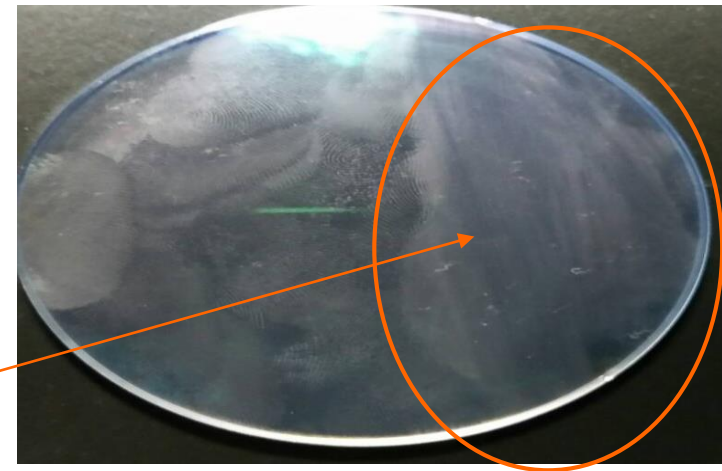
通常防汚コート

・セリートで同じ強さで1回だけ拭いてみました。



ロータスコート

1回拭いただけで
皮脂汚れが
ほとんど取れました。

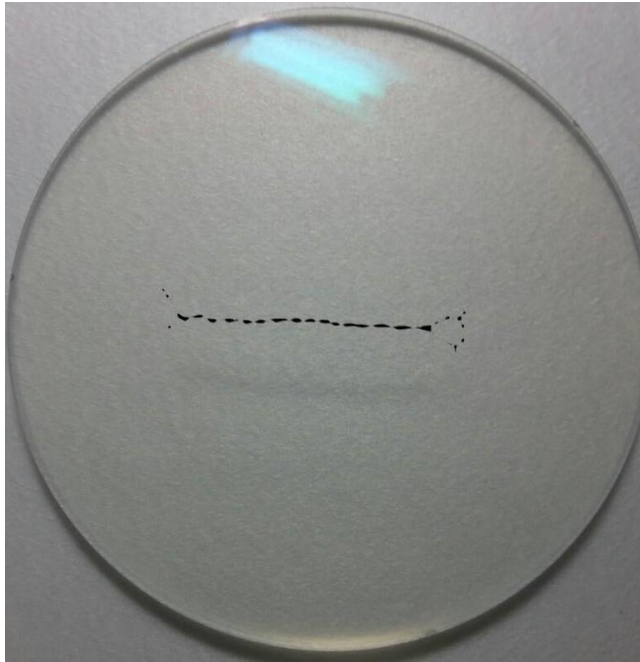


通常防汚コート

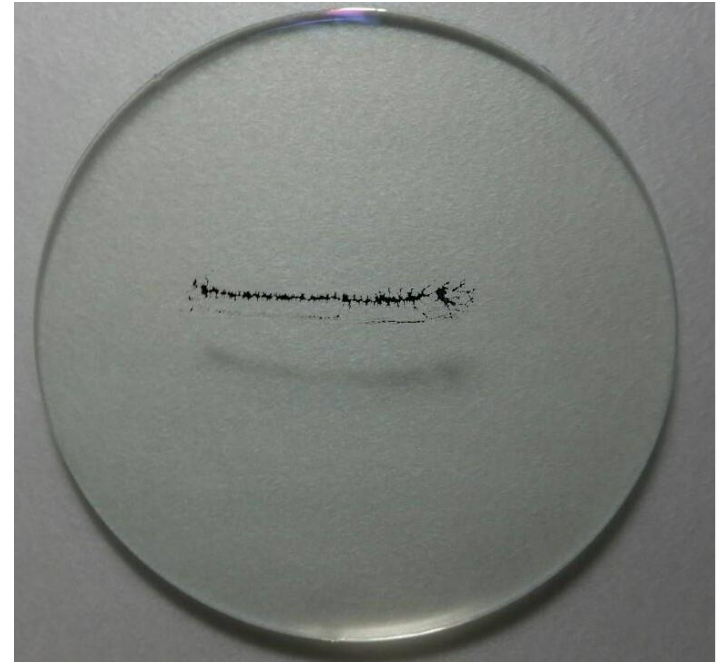
1回拭いただけでは
皮脂汚れが取れず、
この後5回拭いて
やっと取れました。

マジック付着実験

マスカラを想定して、マジックでレンズに線を引きました



ロータスコート



通常防汚コート

ロータスコートは撥水性が高いためインクが水滴となっておりますが通常防汚コートの方はインクが滲み、広がってしまいます。

撥水性

向かって左に「ロータス」、右に「通常防汚コート」のメガネをマネキンに掛けさせます。

シャワーホースで雨を降らし、左右ともブロアーで風速7m/s (25Km/h)の風を当てました。
(風の強い日/速めの自転車程度の風に相当)
ロータスコートは風で水滴が飛んだのに対して、通常防汚コートは水滴が表面に残っています。

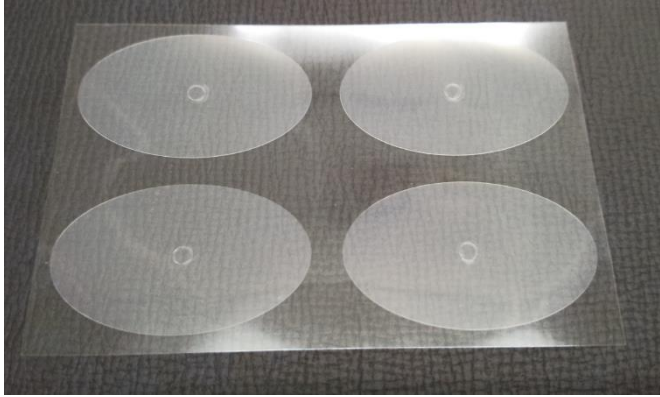


コート別性能比較

		HMC	防汚コート (SPL)	ヒートガード	LOTUS
防汚性	滑り性 (メガネ拭き、 ティッシュ)	—	○	○	◎
	撥水性 (水分汚れ、油汚 れ、雨など)	—	○	○	◎
	帯電防止	—	—	◎	◎
耐キズ		—	○	◎	◎
耐熱性		—	—	◎	—

【ロータスコート 専用滑り止め保護シールについて】

ロータスコートは非常に滑りやすいため、
加工の際は専用の滑り止め保護シールをご使用頂きます。



レンズ1組に「4枚/1シート」を添付します。
(レンズ1枚につき付属の保護シールを
2枚使用します。)

加工手順については、次ページのロータスコート加工手順書に
従って加工をお願い致します。

このシールはロータスコート以外のレンズに使用しないでください。

ロータスコート 加工手順

1. 印点を打って下さい。
印点が見にくい場合はステッドラーなどで
印を付けてください。



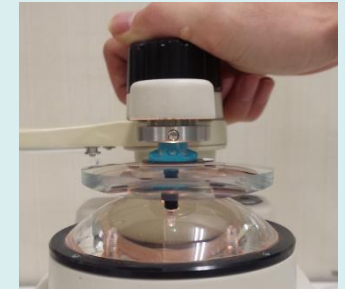
2. ロックテープを
サクシヨンカップに貼る。



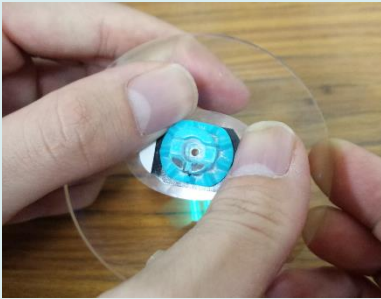
3. サクシヨンカップを
付属の保護シールに貼る。



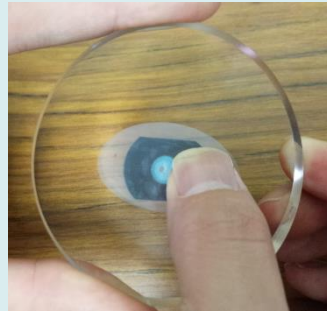
4. ブロッキングする



4. 保護シール部分をしっかり貼り付けて
ください。(気泡を抜くイメージ)



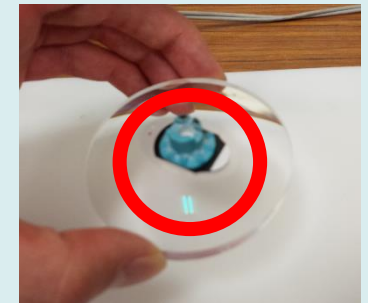
5. 保護シールを凹面側にも
こすりながらしっかり貼ってください。



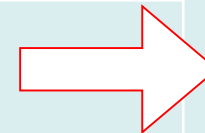
6. 加工を開始してください。
(粹心加工、二度ズリも検証済みです。)



チャック押さえ(ゴム部分)の水分を
毎回拭けばより滑りにくなります。



- ・付属の保護シールは横滑りに対する防止効果が非常に高い性能になっていますが、縦方向は通常レベルです。加工が完了するまでは**レンズ側面を持つようにして、サクシヨンカップを持たないようご注意ください。**
- ・**シールの貼り直しはできませんので、貼るときにはご注意ください。**



【ご注意】

1. サクシヨンカップに付着している水滴は拭き取って下さい。
2. サクシヨンカップは軸ズレ防止、およびチャッキングクラック防止のため、必ずレンズカーブに合ったものをご使用下さい。
3. 必ず「高プラモード」で加工してください。(「撥水コート」モードがある場合はご使用下さい。)



注意事項

- ・従来レンズと比べ、汚れが付きにくく、付いたとしても拭き取りやすいレンズですが、全く汚れが付かないことを保証するものではありません。